

12) 参入に繋がった事例

新規に参入した 17 事例、慣行栽培から転換参入した 3 事例を紹介する。

新規参入に繋がった事例では、いずれも就農前に農家、法人などで研修を受けていた。都道府県などの公的機関の担当者への相談は、新・農業人フェアなど就農相談会や関係機関からの紹介が多かった。参入後も農業改良普及センターとの関係があり、慣行栽培農家と同様の支援を受けていると思われる事例が見られた。民間団体の担当者への相談も新・農業人フェアなどが多かった。

参入に繋がった新規参入 17 事例のうち、青年就農給付金の受給者が 7 事例あり、相談担当者に給付金制度が浸透していることがうかがえる。

転換参入に繋がった事例では、公的機関への相談は特別栽培や有機 JAS 認証の相談がきっかけになっていた。民間団体への相談は、公務員を退職し農業後継者として農業を始める際に、有機農業を選択した。

都道府県（青年農業者等育成センターなど公的機関を含む）

新規参入事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
東北	男	34歳	有	1人	会社員	不明	稲作	田200 a

研修内容など 新規就農者緊急育成事業で派遣研修。研修先で水稻、野菜、雑穀類、自然卵養鶏を学ぶ。

相談のきっかけ 夫婦で新規就農相談センターに直接相談

参入に繋がった理由 派遣研修先への定期訪問による相談、指導。派遣研修先の信用に裏付けられた住居・農地の確保（貸借）

参入後の状況 青年就農給付金（開始型）を受給

新規参入事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
関東	男	43歳	有	無	不明	不明	野菜作	畑50 a

研修内容など 就農地周辺の有機農業実践農家において約1年間、野菜（少量多品目）の研修。

相談のきっかけ 農業委員会へ相談に行き、農業振興事務所を紹介された。

参入に繋がった理由 農地の取得ができ、先進農家での技術の習得ができたこと。

参入後の状況 先進農家を紹介

新規参入事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
関東	男	35歳	有	2人	会社員	不明	野菜作	畑50 a

研修内容など 有機農家で1年間研修

相談のきっかけ 就農相談会および就農支援セミナー

参入に繋がった理由 研修先が見つかったこと

新規参入事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
関東	男	40歳	有	3人	公務員	5,000万円	野菜作	畑250 a

研修内容など 有機農業の会社で有機栽培野菜（人参・里芋等根菜類中心）を学ぶ。

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 農地は農業委員の紹介で、技術は2年間の研修で身に付ける。

新規参入事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
関東	男	34歳	無	無	会社員	800万円	野菜作	畑23 a

研修内容など 有機野菜経営先進農家で露地野菜全般を学ぶ。

相談のきっかけ 相談窓口を訪問
 参入に繋がった理由 青年就農給付金(準備型)の受給や就農準備について支援。農業委員会や市農政課職員と打ち合わせ、農地確保を支援。
 参入後の状況 参入後は、地域担当の農業普及指導員が技術面で支援。市に対し、青年就農給付金(開始型)等による支援を依頼。

新規参入事例 6

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
関東	男	39歳	有	無	公務員	500万円	野菜作	畑50 a

研修内容など 農業大学校、先進農家(野菜)
 相談のきっかけ 新・農業人フェア
 参入に繋がった理由 研修
 参入後の状況 農業改良普及センターより技術を、自治体より農地確保の支援を受けている。

新規参入事例 7

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
北陸	男	40歳	有	2人	会社員	不明	稲作	田150a、畑7.5 a

研修内容など 個人農家で水稻の有機農業技術を習得
 相談のきっかけ 青年就農給付金の受給相談
 参入に繋がった理由 青年就農給付金(経営開始型)の受給。
 参入後の状況 資金相談など

新規参入事例 8

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
近畿	男	37歳	有	無	会社員	不明	野菜作	畑100 a

研修内容など 以前働いていた農場で習得
 相談のきっかけ 就農に対する支援制度についての役場からの問い合わせ
 参入に繋がった理由 自力で農地を借りて栽培を開始

新規参入事例 9

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
九州	男	33歳	無	無	パート・アルバイト	不明	野菜作	畑13 a

研修内容など 農業法人で野菜を研修。青年就農給付金(準備型)を受給。
 相談のきっかけ 農業改良普及センターに訪問
 参入に繋がった理由 公的支援の情報提供。公的機関からの農地の斡旋を受けた。
 参入後の状況 研修先による農地、農業機械の調達。JA・市・県の関係機関による借入金の指導など。

転換参入事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
東北	男	54歳	有	1人	農業従 事者	不明	稲作	田90a

研修内容など 不明

相談のきっかけ 特別栽培の認定機関からの相談がきっかけ

参入に繋がった理由 特別栽培の農薬化学肥料不使用で栽培していたため、技術的基礎があった。

転換参入事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
東北	男	不明	不明	不明	農業従 事者	不明	稲作	不明

参入に繋がった理由 有機 JAS 認定の生産行程管理者認定申請に必要な書類に関する相談とアドバイス

民間団体

新規参入事例 10

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
北海道	女	36歳	有	なし	自営業	100万円	野菜作	畑150 a

研修内容など 研修会、現地見学、地元普及センターの支援、応援

相談のきっかけ 収穫祭などのフェア

参入に繋がった理由 技術の習得（土づくり、病害虫など）

参入後の状況 土づくりと作物管理、有機質の使い方などを支援

新規参入事例 11

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
関東	男	46歳	無	無	会社員	不明	野菜作	畑30 a

研修内容など 有機農家で研修

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 本人の思いと決断

新規参入事例 12

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の 農業形態	農地 面積
関東	男	39歳	無	無	不明	不明	野菜作	畑100 a

研修内容など 農業大学校、有機農家、有機農業研修所の順で研修。1年、青年就農給付金（準備型）の助成を受ける。

相談のきっかけ 相談者の家族の紹介

参入に繋がった理由 当初から関東での就農を決めて、技術研修を受けに来た。研修中に、農地情報を得た。

参入後の状況 前研修先の有機農家の近くに農地を得、住宅情報もその農家から得ることができた。

新規参入事例 13

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
関東	男	42歳	有	無	会社員	不明	野菜作	畑40 a

研修内容など 研修先で作業を通して習得

相談のきっかけ 本地域に親戚があり、有機グループを知った。

参入に繋がった理由 環境保全での就農希望が高かった。

新規参入事例 14

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
四国	男	21歳	無	無	無職	無	野菜作	畑10 a

研修内容など 求職者支援訓練（6か月研修）を受講

相談のきっかけ 技術研修に参加

参入に繋がった理由 技術研修中にアルバイトに行っていた農業生産団体より、農地を斡旋してもらった。

参入後の状況 栽培技術のフォロー

新規参入事例 15

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
九州	男	33歳	有	無	不明	不明	稲作	田15a、畑25 a、樹園地10a

研修内容など 有機農家で研修。青年就農給付金（準備型）を受給

相談のきっかけ 九州での就農を希望し、東京から夫婦で引っ越してきた。新規就農者塾を知り研修に応募

参入に繋がった理由 研修受入農家での1年間の農業実習、集合研修を受け、農業技術や農村での暮らし方を学んだ。田畑や住居を借りることができ、就農につながった。

参入後の状況 地域の方が農地や農業機械・農村での付き合い方など、いろいろと面倒を見てくださった。技術は、研修先に時々相談に行っている。青年就農給付金（経営開始型）を受給

新規参入事例 16

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
九州	男	39歳	有	1人	会社員	150万円	野菜作	畑40 a

研修内容など 有機農業研修所で露地野菜を学ぶ。青年就農給付金（準備型）を受給

参入に繋がった理由 1年間の研修を終え、就農

参入後の状況 新規就農者の認定、経営問題のサポートおよび苗の供給など

新規参入事例 17

地域	性別	年齢	配偶者	子供	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
九州	女	55歳	有	無	不明	不明	畑作	畑500 a

研修内容など 有機農業団体から土づくりを中心とした技術を習得

相談のきっかけ 地域の方が有機農業団体を紹介

参入に繋がった理由 地域の方の紹介で有機農業団体を訪れ、相談を受けた。研修会への参加、技術指導などで、技術を習得中。

転換参入事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	農地面積
関東	男	48歳	有	3人	公務員	不明	稲作	田35a、畑10 a

研修内容など 水稻栽培技術を紹介され、慣行農業以上の収穫が得られ、転換を決意

相談のきっかけ 地元の医者で紹介で、子供のアトピー症状と父親の高齢化に伴い、公務員を退職し、有機農業を始めたい。

参入に繋がった理由 栽培技術はなかったが、農家の後継者であることで、農地始め住宅、資金、資材等は整っており、例年通りの作付をスタートして、その後の稲の生育状況をみてアドバイスから生育が好転することで納得し決意に繋がった。

参入後の状況 有機農業の研修を継続して行い、地域の生産者仲間とも交流を重ねている。